

市民参加によるSAICM国内実施計画の 推進と改善提言・情報の普及啓発

活動地域  日本全域

ひろげる助成

3年目

知識の提供・普及啓発

イベント・学習会等
参加者総数 **155人**

市民ガイドブック
作成配布 **1,000部**

今年度計画の達成度 **90%**

目標達成度 **85%**



公開講座（海洋プラスチックごみ問題）

苦労した点と工夫した点

■ 苦労した点

公開講座は秋に開催したが、台風で交通機関が止まり、延期した。地域セミナーは5か所で開催計画したが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、3か所で開催を中止した。

■ 工夫した点

せっけん運動全国ネットワークに参加している生協に協力を請い、地域セミナーの開催や公開講座の広報に協力していただいた。

課題

化学物質管理に関する2020年目標実現のため、SAICM国内実施計画が取り組まれているが、市民による進捗確認が必要。若い世代の化学物質に関する理解力の向上。

目標

活動を通じて、化学物質管理への市民の理解力が増し、化学物質管理政策への市民参加が進むことで、2020年目標達成に寄与していく。

活動内容と成果

化学物質管理に関する2020年目標とSAICM（国際的な化学物質管理のための戦略的アプローチ）国内実施計画について、3年間の活動をまとめて、政策提言を行った。PRTR制度の認知度が低いことや香害、マイクロプラスチック問題など新しい課題に市民の関心が高いことを明らかにし、取り組みの必要性を提言した。現在社会問題になっている問題をテーマに基礎から学ぶ公開講座を5回、2020年目標の達成に関する地域セミナーを2回開催し、延べ115人の参加があった。化学物質問題とPRTR制度に関する市民ガイドブックを作成し、配布した。



地域セミナー（滋賀）開催

全助成期間の活動を振り返って

SAICM国内実施計画を実施し、2020年目標を達成するという上位目標に対し、市民セクターによる進捗状況の把握を自治体や市民向けアンケート等で把握することができた。市民参加で化学物質管理を進めていくことに関して、市民の賛同を得られたかどうかは不明であるが、化学物質問題に関する市民の関心を高めることについては、香害や海洋プラスチックごみなど新しい課題について、公開講座等を通じて、情報提供できた。



市民ガイドブックを作成し、配布した

〒136-0071
東京都江東区亀戸7-10-1 Zビル4階
電話：03-5627-7520
E-mail：info@toxwatch.net
HP：https://toxwatch.net/



今後の展望

化学物質管理に関する2020年目標の目標年度を迎えるが、目標達成とはいかないので、更なる取り組みの必要性、重要性を市民に向けて情報発信していく。合わせて、10月ドイツのボンで開催されるICCM5（国際化学物質管理会議）に参加し、日本の取り組みを報告するとともに、国際動向を収集し、市民向けに情報発信を続けていく。公開講座、地域セミナーの開催にあたっては、参加者を確保できるように、広報、情報発信のやり方を工夫する。